

リアス・アーク美術館コレクションによる

佐藤健吾エリオ 油彩画展

Kengo Hélio Sato Oil painting Exhibition

2022 8.6 sat ▶ 8.28 sun

佐藤健吾エリオは、1968 年ブラジル・サンパウロ生まれ。帰国後、幼少期、青年期を宮城県石巻市で過ごし、東京芸術大学美術学部油画専攻を卒業後、東京芸術大学大学院美術研究科を修了しました。1994 年には日本で重要視される公募展の一つ、日動画廊主催の第 29 回「昭和会展」で「昭和会賞（最高賞）」を受賞するなど高い評価を受けた作家です。

当館では 2000 年に展覧会「佐藤健吾エリオ展 くはじまりの為に～絵画と言葉の水平への試み～」を開催しています。美術家＝佐藤健吾エリオ氏の絵画と併せて、詩人＝高橋利哉氏の詩、さらにシナリオ作家＝まなべゆきこ氏の小説を並列に展示し、絵画表現と言語表現が交差する場を創出した実験的な展覧会でした。会期中にはこの 3 名の作家を講師にワークショップが開催され、多くの参加者から好評を得ました。

その後も佐藤氏からは、作品の寄贈や 2004 年開催の開館 10 周年記念展への出品など、当館事業へ幅広くご協力いただきました。

東京を拠点に活動をしていた佐藤氏は、2007 年に北海道河西郡の中札内村へ移住します。あこがれの十勝の地でアーティスト活動が続いていた佐藤氏でしたが、東日本大震災の前年にあたる 2010 年に、急逝されその短い生涯を閉じました。

近年、佐藤氏の初期から晩年にかけて制作された作品の一部が、一括で当館へ寄託されコレクションとなったことを受け、この機会に油彩画作品約 45 点を展示、紹介するものです。美術と表現と常に真摯に向き合っていた美術家＝佐藤健吾エリオ。その卓越した技術と繊細な心模様を映した風景画や人物画をご堪能ください。〔観覧無料〕



冬木立（仮題） 2009 年／油彩、キャンバス／M12 号



「beyond the cloud」 1997 年
油彩、キャンバス／P 8 号



「夕の空」 2006 年
油彩、キャンバス／S3 号



「passed time III」 2004 年
油彩、キャンバス／S10 号

開館時間—9:30～17:00（最終入館時間 16:30）
休館日—月・火曜日、祝日の翌日（土日を除く）
観覧料—無料 ※常設展は有料

【常設展】—①美術作品展 ②歴史民俗資料展＝方舟日記—海と山を生きるリアスなくらし— ③東日本大震災の記録と津波の災害史展 →常設展観覧料＝一般：700(600)円／大学・専門学校生：600(500)円／高校生：500(400)円／小・中学生：350(250)円 ※(20 名以上の団体料金) 【レストラン「キッチンスペース 夢の舎」】—地元食材中心の創作料理などを提供。日替りランチ(¥600)、魚系コース(¥900～)が人気。

■三陸自動車道【気仙沼中央 IC】から約 5km(仙台市から約 115 km／石巻市から約 70km／陸前高田市から約 25 km) ■東北自動車道【一関 IC】から約 50 km ◆無料駐車場あり(普通 37 台・大型 5 台)

■東北新幹線【一ノ関】—(大船渡線)—【気仙沼】 ■東北新幹線【仙台】—(気仙沼線)—【気仙沼】

※気仙沼駅からタクシー(約 15 分～)をご利用ください。※「タクシー割引券」と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、気仙沼観光コンベンション協会(電話：0226-22-4560)で販売中。※現在、気仙沼線【前谷地～気仙沼】間、大船渡線【盛～気仙沼】間はBRT運行。



「寄り添う樹」 1995 年／油彩、キャンバス／M60 号



リアス・アーク美術館
RIAS ARK MUSEUM OF ART
宮城県気仙沼市赤岩牧野 138-5
Tel=0226-24-1611 / Email=rias.ark.museum@nifty.com

